

総合的な学習の時間のダイナミックチャレンジ



4年生の関係者の皆さん、金曜日は大変お疲れ様でした。参観した多くの関係者皆さんから、児童の発表内容や態度に賞賛をいただきました。皆さんの今回までの取組に心から感謝します。

今後、口腔撮影・評価等が残っていますが、今回の取組のよさについて、まとめておきます。

①「探求的な学習」の在り方

新学習指導要領の総合の目標の冒頭には「探求的なものの見方・考え方」とあり、これこそが総合の本質であると書かれています。そして、探求的な学習における児童の学習の姿として、以下のように書かれています。

「児童は、①日常生活や社会に目を向けた時に湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見付け、②そこにある具体的な問題について情報を収集し、③その情報を整理・分析したり、知識や技能に結び付けたり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組み、④明らかになった考えや意見などをまとめ・表現し、そこからまた新たな課題を見付け、更なる問題の解決を始めるといった学習活動を発展的に繰り返していく。要するに探究的な学習とは、物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営みのことである。」

少し長い引用となりましたが、4年の先生方、いかがですか。今回の児童の姿は、まさにこの通りではなかったですか。この

様な姿が見られる総合はなかなかないと思います。「主体性に欠ける」という本校の課題の解決にも大きな示唆をくれたのではないのでしょうか。

②探求課題の設定の在り方

総合の学習対象や領域は各学校で設定し、また、各学校における教育目標を踏まえて設定すると示されています。

4月に教務主任から示された、本校の新しい総合の全体計画には、4年生の1学期単元「大切な心と体(20時間)」として位置づけてあります。これは、「大切な心と体を自ら守る」という「体」分野の学校教育目標を踏まえた単元です。

これまで、保健の学級活動として1時間程度の時間として位置づけてあったものを、今回の歯ッカソンをきっかけにして、今後とも20時間程度の健康分野の大単元として取り組むこととなります。

健康分野の取り組みを位置づけた学校はあまりないと思いますが、徳知体のバランスのよい児童を育むことを目標とする本校だからこそその単元です。

③まさに協同した総合の学習活動

今回の活動には、養護教諭の二人はもちろん、宮本栄教、宮田情報教育指導員、竹田学校司書、学校歯科医、歯科衛生士学院学生、ライオン職員など、多くに人が関わりました。まさに、「人と学ぶ」学習だったと思います。4年生児童にもそのことは改めて伝えてほしいと思います。総合とはそういう学習です。今後とも、総合を「みんなで創って」いきましょう。

④家庭も巻き込む総合

連休中に家族のはに関する困り事を調べる家庭学習が出され、お父さんやお姉ちゃんのためにも調べた児童がいました。ポスターセッションを学年PTAとして行った取組も素晴らしいと思います。アイデアを駆使して、家庭も巻き込み、「ともに育成」していきましょう。